みちのく未来基金　第３期生進学先

愛知文京女子短期大学
秋田栄養短期大学
石巻専修大学
岩手大学
岩手医科大学
岩手県立千厩高等技術専門校
岩手県立大学
花壇自動車大学校
北日本医療福祉専門学校
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ
京都女子大学
港湾職業能力開発短期大学校横浜校
国際マルチビジネス専門学校
駒澤大学
埼玉女子短期大学
資生堂美容技術専門学校
首都大学東京
西武学園医学技術専門学校
仙台大学
仙台医健専門学校
仙台市医師会附属准看護学院
仙台こども専門学校
仙台コミュニケーションアート専門学校
仙台白百合女子大学
仙台青葉学院短期大学
仙台総合ペット専門学校
仙台ビューティーアート専門学校
仙台ヘアメイク専門学校
総合学園ヒューマンアカデミー仙台校
大東文化大学
高崎経済大学
つくば国際大学
都留文科大学
帝京大学
天理大学
東海大学
東京IT会計専門学校仙台校
東京学芸大学
東京情報大学
東京農業大学
東京ベルエポック製菓調理専門学校
東京メディカル・スポーツ専門学校
東北大学
東北学院大学
東北芸術工科大学
東北工業大学
東北職業能力開発大学校
東北生活文化大学短期大学部
東北福祉大学
東北文化学園専門学校
東北文化学園大学
富山大学
日本大学
日本医療科学大学
日本赤十字秋田看護大学
八戸工業大学
福島学院大学短期大学部
文教大学
北海道科学大学
北海道教育大学
前橋工科大学
水戸電子専門学校
宮城教育大学
宮城県立仙台高等技術専門校
宮城調理製菓専門学校
明治学院大学
盛岡大学
盛岡医療福祉専門学校
盛岡調理師専門学校
立教大学

寄附金状況報告

	金額（円）	金額比率	件数	件数比率
個人	204,964,140	17.3%	10,492	88.6%
法人・団体	980,994,783	82.7%	1,350	11.4%
合計	1,185,958,923	100.0%	11,842	100.0%

＊2014年3月末現在

2014年3月末時点で11.8億円のご寄附を頂戴しております。 件数ベースでは11，000件を超えており、 多くの皆様からのあたたかいご支援・ご賛同ありがとうございます。
在籍生の増加により、 年間の奨学金給付額は、毎年約3億円、 25年間での給付総額は約40億円と見込んでおり、 現状は必要額の30%に満たない寄附金状況となっております。
今後も引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様からのご寄附は、 すべて震災遺児の学費として使わせていただいております。

■ご寄附方法　「銀行振込」「クレジットカードによる引き落とし」「現金書留」のいずれかをお選びいただけます。みちのく未来基金へのご寄附は寄附金控除の対象となります。

七十七銀行　店舗コード：本店 100　普通預金　口座番号 7951345
三菱東京 UFJ 銀行　店舗コード：仙台支店 314　普通預金　口座番号 0271354
ゆうちょ銀行　ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へのお振込　記号 18150　記号 27549411
他銀行からゆうちょ銀行へのお振込　店名　八一八　店番 818　普通預金　口座番号 2754941
共通　口座名義　公益財団法人　みちのく未来基金
口座カナ名義　ザイ）ミチノクミライキキン

＊上記のいずれかの口座にお振込み下さい。（お振込みには手数料がかかります）＊受領証発行ご希望の場合は、お電話・FAX もしくは E-mail にて送付先をご連絡下さい。

クレジットカードによるご寄附の場合　ホームページアドレスから入り、クレジット決済画面にてお申込みください。　みちのく未来基金　検索
現金書留によるご寄附の場合　郵便局から、当基金宛てに直接現金書留にてご郵送下さい。

≪特別支援企業・団体≫　＊ご寄附に加えて、社員を常勤スタッフとして派遣戴いてる企業・団体
エバラ食品工業（株）

≪支援企業・団体≫　＊5年間で5百万円以上もしくは単年で1千万円以上のご寄附を戴いている企業・団体
旭精工（株）/ アトム（株）/（株）アール・アイ・エー/（株）アンズコーポレーション/（株）一如社/岩井機械工業（株）/岩瀬コスファ（株）/（株）ヴァンネットエムスリー（株）/（株）大木 /（株）O2（オーツー）/化成工業（株）/（株）カナエ/NPO 法人キャットミント /（株）協和 /（株）国元商会/コクヨ東北販売（株）小菅（株）/（株）サークル K サンクス / 産経新聞厚生文化事業団 / 三省製薬（株）/ 山陽技研（株）/ 三和工業（株）/（株）CDG / CKD（株）/（株）ジャストスターバックス コーヒー ジャパン（株）/（株）世界思想社教学社 / 大地みらい信用金庫 /（株）土金 / 東洋ビューティー（株）/（株）トレンディ / 日進工具（株）日本臨床口腔外科医会 / 熱研プラント工業（株）/（株）ノーリツ /（株）ハーティウォンツ / フクダ電子（株）/ 不二製油（株）/ 富士ゼロックス宮城（株）BLEA / 北陸朝日放送（株）/（株）ホスピタリティエージェント /（有）丸山珈琲 / 三菱自動車工業 STEP 基金 / 宮川興業（株）/ 未来航路（株）/（株）ヤオコー（株）薬王堂 / 八千代電設工業（株）/ ユニー（株）/ 医療法人社団 和幸会

≪後援企業・団体≫
五十嵐 ICT プロモーション / 岩手日報社 / 河北新報社 / 合同会社コーズ・アクション / 鈴木友隆公認会計士事務所 / 福島民報社 / 公立学校法人宮城大学

≪発起企業≫
カゴメ（株）/ カルビー（株）/ ロート製薬（株）　（五十音順）

その他ご協力頂いている全ての皆様に感謝致します。

Copyright(c) 2011 公益財団法人みちのく未来基金 All Rights Reserved.

みちのく未来通信

2014年4月
第7号

公益財団法人みちのく未来基金
〒981-3135
宮城県仙台市泉区八乙女中央５丁目 10 番８号
八乙女ユナイトビル 2F
電話番号 022（343）9996
FAX 番号 022（343）9997
E-mail　info@michinoku-mirai.org
HP　http://michinoku-mirai.org/

みちのく未来基金に 第３期生が仲間入りしました！

2014 年、みちのく未来基金には 115 名のエントリーがあり、そのうち 105 名が志望校に合格し、みちのく未来基金第3期生として仲間入りしました。
様々なできごとを乗り越え、見事合格通知を手にした3期生たちに、基金スタッフ・サポーター 一同、心から拍手を送ります。
それぞれの思いを胸に、新たなステージの入り口に立った3期生たち。 この春から始まる彼らの学生生活が素晴らしいものになるよう、たくさんの人が応援しています。

みちのく未来基金　第３期生進学支援実績

	合計	国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校
岩手県	45	14	13	6	12
宮城県	48	4	21	5	18
福島県	10	2	4	1	3
上記3県以外	2	0	2	0	0
合計	105	20	40	12	33

＊2014 年 3 月末現在



▲第３期生の集い集合写真（於：宮城大学）

第３期生の集い
～広がれ、みちのく生の【わ（話・和・環）】～

2014 年３月 14 日から 15 日にかけて、「みちのく未来基金第３期生の集い」が開催されました。４月からそれぞれの志望校へと進学する３期生 52 名が参加し、交流を深めました。
今年の集いのテーマは【わ（話・和・環）】。初めは緊張した面持ちだった３期生も、スタッフや先輩との交流を通して次第にリラックスし、２日目の「門出の会」では、新たなステージに向けての意気込みをしっかりとした言葉で語ってくれました。
みちのく生たちの２日間の様子をお伝えします。

スタッフ手作りのレクリエーション

この集いでお互いに初めて顔を合わせた３期生たち。
お互いを知り合うためのきっかけづくりとして、まずはスタッフ手作りのレクリエーションに参加。先輩スタッフのサポートで盛り上がり、次第に笑顔が広がっていきました。



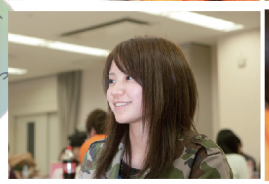


「語りの時間」－お互いの夢を語り合う－

１日目のメインプログラムは「語りの時間」。
４～５人ずつの班に分かれて、「私の一番の特徴」「将来の夢・目標」という２つのテーマで自由に話す時間です。
班の進行役になった１・２期生スタッフは「うんうん、それから？」とあいづちをうったり、「私の時はね …」とアドバイスしたりと、先輩として３期生をやさしくフォロー。３期生たちは、翌日の「門出の会」で発表するため、ここで語り合った夢や目標を「たまごシート」に書き込みました。









「３期生の「わ」」に込めた思い

「３期生の『わ』」のデザインは、２期生の一人が手がけてくれたものです。このデザインに込められた思いをご紹介します。

集いのテーマ「わ」と、みちのく生を包む「みちのく未来基金」を月桂冠の円と虹色で表現。
手のような形の２本の枝は、みちのく生を支えてくれるサポーター（寄附者）。
２個の卵は、この集いで初めて顔を合わせる３期生たち。
そして大きな「わ」の上の２羽の鳥は、先輩として３期生を見守る１期生と２期生を表しています。

門出の会 －気持ちを新たに－

２日目の「門出の会」では、３期生一人ひとりが自分の夢を発表しました。夢をもつようになったきっかけや、これからの学生生活への意気込みなどをそれぞれが自分の言葉で発表し、目標を書いた「たまごシート」を「３期生の『わ』」のボードに貼り付けて、大きな「わ」ができ上がりました。









集いを支えた先輩スタッフ

「３期生の集い」運営のために、先輩である１・２期生 44 人が応援に駆けつけてくれました。「同じ経験をした者どうしだから分かり合えることがあるはず」「支えてくれるたくさんの方に感謝を伝えたい」という熱い思い。３期生の緊張や心細さを察して、何も指示されなくてもどんどん自主的に動き、本当に頼もしい先輩ぶりを発揮してくれました。彼らの力がなければ、３期生の集いは成功し得ませんでした。
事務局スタッフにとって、支えるべき存在だと思っていたみちのく生たちが、一緒に基金を作り上げていく仲間になってくれていたのだと気づかされた集いになりました。







サポーターとの交流

集いの場は、みちのく生とサポーターとが直接話せる数少ない機会でもあります。今年もたくさんのサポーターが参加してくださり、門出の会やランチパーティでみちのく生との「わ」を深めました。





お祝いのことば（コクヨ東北販売株式会社　代表取締役社長　岡竹 博昭 様）
「今は自分の目の前にある目標に徹底的に取り組んでください。夢は後から変わってもいいんです。一生懸命やっている人には『助けてやろう』という人間が周りに出てくるものです。我々サポーターも全力で皆さんをサポートしていきます。今後、皆さんが社会に出たら、基金の後輩に対しても、将来、サポーターという役割をぜひ演じていただきたい。これから頑張ってください！」



旅立ちの会　～社会に羽ばたく君へ～

この春、26名のみちのく生が短大・専門学校を卒業し、社会に羽ばたいていきました。
「3期生の集い」の2日目、社会に羽ばたくみちのく生たちの「旅立ちの会」を開きました。
2年間、または1年間の学生生活を終えて、社会へと出ていくみちのく生たち8名が出席し、代表理事の長沼から、卒業証書「羽ばたく君へ」と記念品、そしてみちのく生手作りのブーケが手渡されました。
社会に出るにあたっての意気込み、そしてこれまで支えてもらった人々への感謝の思いを、一人ひとりが語ってくれました。







S・Aさん（1期生）



サポーターの皆様や基金スタッフの皆さんのご支援のおかげで、仙台の専門学校に2年間通わせていただきました。4月からは小学校で事務職員として働くことになりました。
宮城の復興に直接関わる仕事ではありませんが、将来の復興を担う子ども達を見守る立場での仕事ができると思っています。働くにあたって不安なことも多いですが、今の自分にできることを精一杯頑張りたいと思います。2年間本当にありがとうございました！



K・Iさん（1期生）



皆様のご支援のおかげで、東京の専門学校を卒業することができました。
4月からは旅行会社で旅行営業の仕事を始めます。
一人前の営業マンになれるよう頑張ります！







Y・Iさん（1期生）



仙台の専門学校を卒業し、4月から東京のレストランで調理師として働きます。
初めての一人暮らしなので不安も大きいですが、今まで震災を乗り越えてやってこられたので、負ける気はしません。
卒業式では泣くようなタイプではないんですが・・・この会で今こうして涙が出てくるのも、基金に寄附をしてくれた皆さん、家族のように支えてくれたスタッフの皆さんがいてくれたからだと思います。
僕は、みんなが話している東北の訛りが大好きなので、ここにいると落ち着くことができました。東京でも自分らしく、いつか地元に帰ってきたとき、胸を張って「ただいま」と言えるように頑張りたいと思います。本当に今までありがとうございました。

N・Uさん（1期生）



短大を卒業し、４月からは宮城県内の幼稚園で勤務します。年長組の担任です。
みちのく未来基金の皆様のおかげでここまで来られました。私は仙台で育ち、仕事で沿岸部に行っていた父を亡くしたので、周りには同じ境遇の子がいなくて、ずっと苦しい思いをしてきました。みちのく生や、スタッフの皆さん、支えてくださる皆さんのおかげで「もっと自分も頑張ろう」と思えました。４月からは幼稚園教諭として、感謝の気持ちを忘れず、子どもに寄り添って、自分自身も楽しみながら仕事をしていきたいと思います。ご支援ありがとうございました！

A・Mさん（1期生）



仙台の専門学校を卒業し、宮城県内のドラッグストアに就職が決まりました。
震災の影響で、大黒柱であった父を亡くし、母が一人で4人の子どもを育てています。今回、３期生にも弟が入りました。震災直後、人々の支えになろうとしているドラッグストアの方々が、すぐに活動を始めたことがとても印象的で、一年後には私も薬品販売学科に入って販売員を目指したいと思うようになりました。でも、このみちのく未来基金を知るまでは、全然違う職種に就こうと思っていました。基金のおかげで夢をかなえることができました。
言いたいことはたくさんあるのですが、全部言うときっと泣いてしまうので、３つだけ宣言させてください。
まず、ドラッグストアでは今まで支えてくださった会社の製品も扱っているので、たくさん売って利益を上げられるようにしたいです。また、これからはサポーターとしてもみちのくを支えていきたいです。
みちのくにはこれからもずっと関わっていたいので、よろしくお願いします！

M・Sさん（1期生）



４月から清掃系の会社に入社します。初めのうちは自分の好きな仕事ばかりではないと思いますが、持ち前の根気づよさを生かして、精一杯頑張っていきたいと思います。
みちのく未来基金や、サポーターの皆様にはたくさん支えていただいたので、自分が仕事をすることでお返しができたらと思っています。ありがとうございました。

K・Sさん（2期生）



昨年の門出の会で「BIG な男になる！」と宣言した、曽我健太です。
東京の専門学校を卒業し長野県の軽井沢にあるレストランに調理師として就職します。
今日、この「旅立ちの会」に参加したのは、スタッフやサポーターの皆様に、１年という短い時間でしたが「自分が頑張ってきた」という姿を見せたかったからです。
就職して３年くらいしたら、今日ここにいる皆さんを全員ご招待できるくらいに成長したいと思います。これからも応援よろしくお願いします！

S・Kさん（1期生）



私たち卒業生は、震災で一度は自分の夢を諦めました。でも、みちのく未来基金に出会って、また新たに自分の夢に向かって頑張ることができました。皆さんのおかげで、今の私たちがいます。
４月からは盛岡市に新しくオープンする美容室で働きます。先輩の姿を見て、いいところを盗んで、立派な美容師になりたいと思います。
基金のスタッフの皆さん、サポーターの皆さんには心から感謝しています。自分の夢を諦めず、かなえる希望を持たせてくれてありがとうございました！
これからも、みちのく未来基金の１期生として、２期生や３期生、そして未来のみちのく生たちを支えていきたいと思います。本当に、２年間ありがとうございました！！